

ほっぷ・ステップ・Jump! (保っ父)

1997.02.10 Vol.27 発行:北海道の子どもと保父の会

巻頭言

札幌市では、現在4つの保育園で「地域子育て支援事業」を行っている。私の勤務する美園保育園もそのひとつで、主に次の様な事業がある。

- ・あそびの広場 - 保育者が親子のあそびを紹介する。
- ・サークル - 広場を修了した親子の仲間作りを援助する。
- ・子育てサロン - 近隣の親子が自由に保育園で遊び、交流できる場をつくる。
- ・措置外通園 - 必要な親子が保育に参加し、悩みや問題を解決する機会をつくる。

子どもをあやすことが出来ない。一緒にすごすのが苦痛だ。すぐ叱りつけてばかり。この子は障害児なのではないか
(結構そう思っている人が多い)。

子育てに対する不安、悩みははてしない。主に1歳頃から幼稚園就園前の子と母親が、様々な思いを胸に、毎日10~20組程度、保育園にやってくる。ここで出会った親子はみな平等。“公園デビュー”の様な苦労もなく、帰る時にはすっきりした表情で「又来週ね!」と帰っていく。

感想には「同じ悩みを持っているおかあさんと出会えて良かった」「久しぶりに大人とたくさん話げできた」「子どものこんな楽しそうな表情を初めて見た」「保育園って想像していたより明るくて気に入った」等々、いいことづくめ。

過去の“保育園”という概念を打ち砕くのに苦労しているベテラン保母も多いが、少しづつ現代の子育て事情に保育園が追いついてきたような感じがする。

そして、ふと足元を見ると、「果して我々は保育園に措置されて来ている親子の支援を同じようにしているのだろうか。」という疑問が湧いてくる。子どもをみる事だけでよしとしてはいけないか。“子どものために”といいながら、親に対して無理な注文をしてはいないだろうか。子どもに個性があるように、親の一人一人にも個性がある。親になりきれない、大人になりきれない、そんな人も多く、通り一遍の対応だけでは難しい。

子どもだけでなく、背景にある家族も丸ごと受け入れながら、毎日子どもたちと関わっていく事の大切さを改めて感じるこの頃である。

桑原 一司

風に吹かれて

保父修行物語 27 第二はとポッポ保育園 船戸敬悦

大山のふもとでのスイカの出荷の仕事にもだんだんと慣れてきていた。本当に汗をかきの重労働ではあるが、丹精込めて育ててきたスイカを出荷していく作業は、たいへんだが、スイカの晴れ舞台を見ているようで、ここちよかった。畑からトラックで市場へスイカを運ぶ、毎日このくりかえしだった。I氏は本当によく働く男だ。そして祖父も祖母も、奥さんも感心するぐらいに朝はやくから、晩まで働きづめだった。I氏の娘二人は、近くの保育園に通っていた。I氏は朝の仕事がひと段落してから娘達を保育園に送りにいくのだった。私も一緒につれていってもらう、……いやーなつかしい、朝はやくから保育園の子ども達の歓声が聞こえてくる。園庭でのびのびと遊んでいる子ども達、いつのまにかI氏の娘達も、子ども達の中に入っていった。私は保育園で働いていた頃のことをいつのまにか思い出していた。本当になつかしかった。保育園の雰囲気って、こん

なにあったかくて、おちつく所だったのだと、あらためて感じていたのだった。畑仕事をおえて夕方、家に帰る道すがら、大山がまっかに燃えているような夕焼けを見た。自然の中に生きている！という思いを実感していた。そして家族そろっての晩御飯。保育園から帰った娘達も、仕事をおえて帰ってきた祖父母達と一緒に晩御飯。なんともいえないほど私は、いつのまにか、この暖かさをわすれてしまっているような気がした。気持ちがやすらぐというのはこのことなのだろうか？あたりまえの生活の中に暖かさがあつた。そして娘達は眠る前には必ず祖母の昔話を聴く習慣があつた。大山に伝わる昔話を毎日聞かせてくれた。その中には必ずと言っていいほど鬼や、やまんばが出てくる昔からの伝説を語ってくれる祖母。それをじっと聞いている娘達！ついつい私もその語りの中にすいこまれていきそうだった。あーこんなふうに伝わってきたんだなあ、仕事も、生活も、生き方も伝説もすべて、このほのぼのとした暖かさを私はうらやましくおもいながら、くたくたに疲れた身体を布団の上に横たえて、グッスリと眠りにつく毎日だった。

以下Vol.28へ続く……



やまんばとうしかた より

「パパは保母さん」 ～ 保父の育児日記～

発寒ひかり保育園 西村 猛

「川の字」とは良く言ったものである。我が家でも、真ん中に友希、左にかみさん、右に私と文字通りの寝方。だが、友希が7ヶ月になるまでは「真ん中は危険」という配慮？で、離されて寝ていたのだ。なんせ私の寝ぞうは、天下一品の暴れん坊將軍!!。妊婦だったかみさんの腹を蹴飛ばそうとしたというし、顔にはエルボー弾をくらわせたというし、壁にぶつかるのなんていつもの。本人が覚えているのなんて、マクラによだれがいっぱい付いているぐらいのことなのに、証人がいるなんて不思議なものだ。

「もう友希も大きくなったし、真ん中に寝かせようか」というかみさんの言葉には、表と裏があつたと思われる。親子三人で「川の字」で寝るなんて、とても暖かい家庭をイメージ出来るもので、やっとそれが実現できるということ。これは表舞台。その心の奥には、「友希が泣いても、起きてても、一秒たりとも起きずにイビキガーガー」の私に対して、友希が近くに寝ることで、「もっと意識してくれるだろう」という願望があつたに違いない。

まあ、私も娘の寝顔が隣りにあると、かわいくてしかたがない。小さく動く口や、手をコチョコチョ動かし、足で布団を蹴飛ばしてガニ股が表れたり……。

ずーっと見ていると、全く飽きない。それにその後ろでは、かみさんがそんな私を見ながら微笑んでいる。

ある日には、私がライトを点けて本を読んでいると、2つ向こうのかみさんは口をポカンと空けて育児疲れを癒していた。私は、隣でモゾモゾと動き出した物体に気づき、「ハッ」と見るとその物体は光に向かって目をキラキラさせ、満面の笑顔でよだれをたらしながら、急加速で突進してきた。私は大笑い。娘も大笑い、かみさんは夢の中。私はライトを消し、娘を寝かしつけた。「う～ん なんて幸せな時だろう。川の字はいいもんだな～」と私も眠りに入った……。

それなのに、友希が9ヶ月に入った時、「もう『川の字』はやめようよ」とのかみさんの言葉より又々元の寝方に戻ってしまった。(現在進行形)私が「いやだ」と言わずに素直に「そうしよう」と言ったのには、いたしかたない理由がこの2ヶ月の期間には多々あつた。

私は目を開けていればいいパパで、私が目を開けている時はいい家庭であろう(自負、自負)しかし、一度眠りに入ると悪魔と化す。友希をまくらにして眠ってるわ、友希の布団を占領するわ、寝言で起こすわ、(手拍子したり、大笑いしてたり、急に

自己紹介したり、しまいには「おやっさん、お新香とお酒ちょうだーい!!」と叫んだこともあったらしい)かみさんも、いつも私に夜中蹴られているからと言って、蹴り返したら娘を蹴っていたというし……決定打は、私が友希の顔に、掛け布団を掛けてしまったらしくて、慌てて怒りながらかみさんがそれを取ったことだった。まあ、そういうことで、今は利にかなった寝方なのである。

我が家の「川」は「川」が正解。というお話でした。



P.S 皆様にご心配かけた膀胱もすっかり良くなり、バリバリの日々です。

保育はおもしろいよーほんと。今年は年長26名の担任として、好き勝手にやらせてもらってます。

海いったり、手稲・円山登山したり、畑の作物の炭焼きパーティーしたり、毎月クッキングしたり(パンや手打ちうどんなんて最高だったナー)ジオラマ作ったり、親子キャンプしたり、土粘土を野焼きしたり、こないだは発寒川のサケ穫ったり(密漁だよーそりゃ)さ。もう書ききれない~この間の子供達の成長は素晴らしいものでしたよ。"心から一緒に喜びを分かち合う成長し合う。"ことができる最高に贅沢な職業ですナ。

仲間よ保父会に集え、楽しもう、一人で悩むな、苦しむな、一匹狼の保父業だって仲間がいれば怖いものないよ。

な、みんな一緒に楽しみながら保育していこうよ!!

保父会で待ってるよ。

(保父会があるから、支えられてきたから、今もこうやって保父で在り続けている西村より)

例会報告

9月の例会(幌北中央保育園)

雨にもまけず、焼き物持参で集まったのは、三村・船山・小田・西村・浅利・畠山・桑原の8人でした。

10月は飲み会

狸小路2丁目『炙り屋』で行いました。14名

さすが、飲み会の威力は絶大!

尚、飲み会の一部を会費の中から補助させていただきましたので、報告いたします。

11月の例会(幌北中央保育園)

16日に行われ、8名が集まりました。すき焼きをつつきながらの語らいでは「すき焼きなんて何年ぶりだー?」

「うまい!!」という感動の声が多くきかれました。趣味の話、保育の話し等々、皆リラックスした時を過ごしました。

12月は忘年会

12月13日(金)ススキノの『丹頂』で行いました。13名

久々に鶴川の浅野さんが彼女持参で参加してくれました。(彼は毎週のように彼女に逢いに来ているそう)

例会よりも女のほうが良いそうだ……(当然だ!) お嬢に行く日も近いかな?

1997年の新年会

1月24日(金)ススキノの『うまいものや天銀』で行いました。9名

忘年会に引き続き高井君が幹事をやってくれました。ありがとう!



総会のおしらせ

恒例の総会です。

2月15日(土) & 16日(日)



場所は盃温泉、国民宿舎『もいわ荘』です。昔はコキタナかったんですが、リニューアルしてまだ2年位です。かなりリッパな構えです。是非みんな参加して下さい。



スキーもよし、釣りもまたBestです。

釣りをするグループは朝のうちにやっているそうです。

ダラダラ組は17:30までに集合して下さい。

2月10日現在参加予定者・・・桑原・西村・小田・浅利・畠山・細谷・桂田・佐々木・三村



(参加出来ない方は必ず委任の連絡をして下さい)

連絡は西村まで

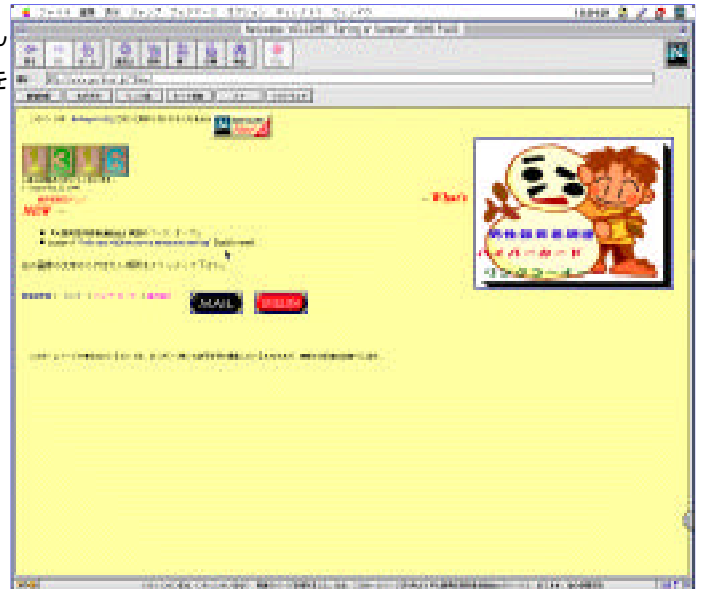
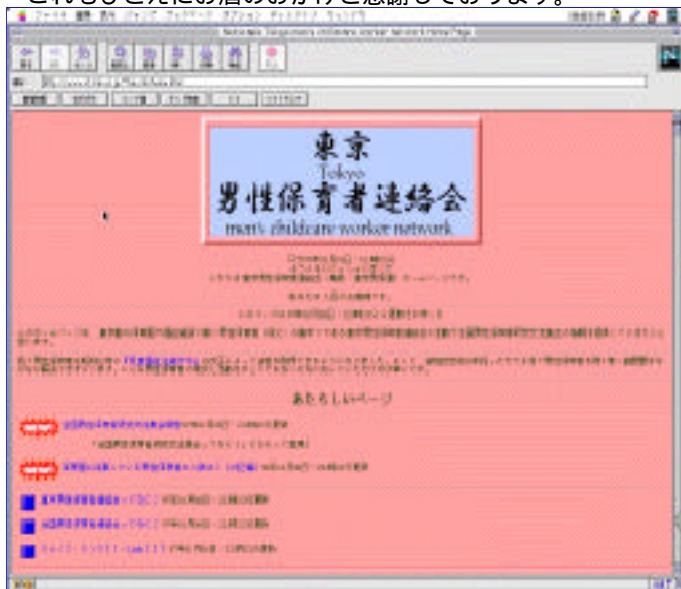
3月の例会については、総会報告号でお知らせ致します。

事務局より

Hop Step Jumpは忘れた頃にやってくる。

毎晩毎晩お酒が美味しくて、ついついVo27の発行がこんな季節になってしまいました。

これもひとえにお酒のおかげと感謝しております。



東京 <http://www.st.rm.or.jp/tak-itb/home.html> 大阪

<http://www.yo.rm.or.jp/hisao/>

インターネットに繋げることで出来る方は、是非覗いてみましょう。そしてメールを送りましょう。

すすめ電波少年の口調で、『伊藤さんと中西さんをお願い』『札幌のHomePageを作ってほしい~』



事務局

001 札幌市北区北20条西3丁目19番地 幌北中央保育園内

011-716-1841 Fax 011-716-1852

北海道の子どもと保父の会

Mail Address jactor@comnet.ne.jp

Nifty VYG02402